

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科	テクニカル	2020年度	2年前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	服飾造形 TII	講義 実習 実技	加藤 千恵子	10

授業の到達目標	作品制作を通してパターン・ソーイングの理解を深める。 パターンメイキング技術検定試験
---------	---

授業の内容	1年生で習得した平面構成の基礎段階から応用段階へと進む。ワンピース・一重仕立てジャケット・フレアー研究の制作を通してパターン・ソーイングの理解を深める。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	ワンピース
2	*ダーツ移動パターン
3	*衿応用パターン 【部分縫い】 *布ループ *カフス付け *途中明き *W.L接ぎ など
4	*ワンピース応用パターン
5	*グレーディング
6	*子供服パターン
7	一重仕立てジャケット
8	*ジャケット応用パターン
9	*キャミソールパターン
10	*フレアー
11	*ケープパターン
12	研究作品: テーマ フレアー(CADと連動)
13	
14	*ハイネックパターン
15	

成績評価の方法
作品・部分縫い・実寸パターンなどの課題提出 出席状況 テスト

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち	学校で準備する教材など
各自上身頃・スカート原型・寸法記入表・製図用紙 ルーラー一式 (CADの準備)	

配付資料
プリント配布

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科	テクニカル	2020年度	2年後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	服飾造形 TⅢ	講義 実習 実技	加藤 千恵子	10

授業の到達目標	2年間の集大成として卒業作品を制作。卒業制作研究と連動し、完成度の高い作品を目指す。 洋裁技術認定試験
---------	--

授業の内容	服飾造形TⅡに引き続き応用段階。パターンでは難易度の高い衿・袖・プリーツなどの理論を学び、それらを取り入れた卒業作品を制作する。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	卒業作品(卒業制作研究と連動)
2	*コート応用パターン 【部分縫い】 *アウトポケット *比翼仕立て *プリーツファスナー付け など
3	*袖応用パターン
4	コート(卒業作品と並行)
5	
6	
7	
8	*プリーツ
9	
10	
11	
12	
13	
14	*ウェディングドレスパターン
15	まとめ

成績評価の方法
作品・部分縫い・実寸パターンなどの課題提出 出席状況 テスト

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
前期終了時に説明・伝達	

配付資料
プリント配布

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科	デザイン・テクニカル	2020年度	2年前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	ドレーピングDI・TI	講義 実習 実技	三科 三四子	3

授業の到達目標	パターンメイキング技術検定試験
---------	-----------------

授業の内容	基本的理論の理解、基本技術の習得を目標とする。平面・立体いずれも理論上同一であることを認識・理解させる。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容			
1	上身頃③(パネル原型)復習	ドレーピング組み立て・修正・パターン取り		
2		説明と実習		
3	↓	縫い代付けパターンの作成		
4	衿	スタンドカラー	トワフル組み立て	
5		ロールカラー		
6		フラットカラー		
7		セーラーカラー	↓	
8			パターン取り	
9	↓	パターンメイキング		
10	袖	袖の目作成		
11		セットインスリーブ	トワフル組み立て	
12	↓	パターン取り・修正		
13	ビスチェ(フォルターブラウス)	トワフル組み立て		
14	↓	パターン取り・修正		
15	テスト			

成績評価の方法
立体組み立てテスト、立体組み立て・平面パターンの完成度、課題提出、実習態度・意欲(出席率も含む)

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
杉野服飾大学特任講師/株式会社セラビ・チーフパターンメーカーとして勤務/グンゼ産業株式会社・パターンメーカーとして勤務 赤川英株式会社・生産管理部勤務/おむすび権兵衛・商品部メニュー開発勤務

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
筆記用具・A4ファイル・シーチング(厚地)70cm 裁ちばさみ・シルクピン・ピンクッション・メジャー ルーラー式 シーチングは地直し済みのもの	

配付資料
プリント(デザイン画)の配布

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科	デザイン・テクニカル	2020年度	2年後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	ドレーピングDⅡ・TⅡ	講義 実習 実技	三科 三四子	3

授業の到達目標	パターンメイキング技術検定試験
---------	-----------------

授業の内容	ドレーピングで作成したパターンをCADに入力し作業の流れを確認する。 自分でデザイン画を描き、ドレーピングでトワルを組み立てる。世界に一つだけの作品を作る楽しさ・大変さを学ぶ。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容			
1	自由作品デザイン画提出・シャツブラウス(台衿付き)	ドレーピングトワル組み立て	説明と実習	
2	シャツブラウス(台衿付き)		(身頃)	
3			(台衿)	
4			(袖)	
5		CADパターン読み込み		
6	ベスト(テーラードカラー)	トワル組み立て(身頃)		
7		修正・パターン取り		
8		トワル組み立て(衿)		
9	自由作品(ブラウススーツ)または(ワンピースドレス)			
10		トワル組み立て(両身頃)		
11		修正・パターン取り		
12				
13				
14		作品発表・展示		
15	テスト			

成績評価の方法
自由作品完成度、立体組み立てテスト、立体組み立て・平面パターンの完成度、課題提出、実習態度・意欲(出席率も含む)

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
杉野服飾大学特任講師/株式会社セラビ・チーフパターンメーカーとして勤務/グンゼ産業株式会社・パターンメーカーとして勤務 赤川英株式会社・生産管理部勤務/おむすび権兵衛・商品部メニュー開発勤務

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
筆記用具・A4ファイル・シーチング(薄地)150cm 裁ちばさみ・シルクピン・ピンクッション・メジャー ルーラー一式 シーチングは地直し済みのもの	

配付資料
プリント(デザイン画)の配布

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科	テクニカル	2020年度	2年前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	インダストリアルソーイングⅠ	実習 実技	加藤 千恵子	2

授業の到達目標	作業効率の良い縫製方法を学習する。
---------	-------------------

授業の内容	1年次で学んだ知識と技術を基に新しい仕様や作業効率の良い縫製方法を学習する。 工場縫製による部分縫いを行う。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容			
1	ミシンの説明及び復習・練習(毎授業の始めに行う)			
2	ワンピース対応の部分縫い	*ノーカラー・ノースリーブ	*キャップスリーブ など	
3				
4				
5	↓			
6	一重仕立てジャケット対応の部分縫い	*ポケット各種	*明きみせ	*ベンツ など
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14	↓			
15	一重仕立てラグランスリーブコート(作品) 説明			

成績評価の方法	
出席状況	提出課題の評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物 筆記用具・A4ファイル・ノート 薄地シーチング(縦40cm×横30cm) ミシン糸 他 洋裁用具	学校で準備する教材など
---	-------------

配付資料 プリント配布

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科	テクニカル	2020年度	2年後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	インダストリアルソーイングⅡ	実習 実技	加藤 千恵子	2

授業の到達目標	作業効率の良い縫製方法を学習する。 縫製工程表が理解出来るようにする。
---------	--

授業の内容	前期で学んだ知識と技術を基に、作品制作を通して作業効率の良い、又、縫製工程を確認し品質の良い製品に仕上げる。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	一重仕立てラグランスリーブコート
2	制作準備 *カッティング *芯張り *テープ張り
3	*ソーイング
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	↓
15	まとめ

成績評価の方法	
出席状況	提出課題の評価

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
前期終了時に説明・伝達	

配付資料 プリント配布

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科	テクニカル	2020年度	2年前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	CAD T I	実習 実技	平良 恵	1

授業の到達目標	CAD基礎で習得した基本操作を繰り返し行うことで作業に慣れる。 企業パタンナーの一連の流れを理解する。
---------	--

授業の内容	CADを使ってどのような操作ができるかを知った上で、自分で操作することに慣れる。 パタンナーに求められる仕事の一連の流れを体験する事でCADでのパターン作成とパターン作成のみでは無く、その他必要な仕事の方法も練習する。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	各自身頃原型・SK原型入力(スキャナーでスキャン)
2	9号身頃原型修正 練習
3	各自身頃原型修正
4	9号SK原型修正練習
5	各自SK原型修正・かき出し(1/4・1/5・実寸)
6	ダーツ移動A・ダーツ移動B
7	ダーツ移動C・テーラードカラー 作成
8	JK見返し・表衿作成
9	テーラードJKパターン作成(ノッチドラベル・総裏どんでん返し始末仕様)
10	パターン縫い代付け
11	縫製仕様書作成
12	縫製展開図作成
13	
14	
15	↓

成績評価の方法	出席状況と提出課題
---------	-----------

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)	㈱NICOLE 6年間 婦人服パタンナー経験あり ㈱ジーユー 5年7か月 販売員経験あり
----------------------	---

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
筆記用具、 A4クリアファイル(25ポケット以上 または増やせるもの) USB 縮尺ルーラー	特に無し

配付資料	プリント配布
------	--------

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科	テクニカル	2020年度	2年後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	CAD T II	実習 実技	平良 恵	1

授業の到達目標	CAD T I で習得した基本操作を繰り返し行うことで作業に慣れ、より確実に自分のものにする。 最終的に自分で考え操作、作業を行い 企業パタンナーの仕事の流れを理解する。
---------	--

授業の内容	CAD T I で学んだことを習得し、自分で操作できるようになる。 パタンナーに求められる仕事の一連の流れを自ら考えCADでのパターン作成とおよび、その他必要な仕事の方法を自ら出来るようになる。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	・研究パターン
2	ダーツ移動またはフレアー展開 No.1(各自研究)
3	(CAD操作 縫製展開図作成)
4	(縫製仕様書作成)
5	
6	
7	
8	↓
9	・テーラードJKパターン復習(半裏仕立て)
10	原型から工業用パターン作成 (CAD操作 縫製展開図作成)
11	(縫製仕様書作成)
12	
13	
14	
15	↓

成績評価の方法
出席状況・提出課題・内容の理解度

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
(株)NICOLE 6年間 婦人服パタンナー経験あり
(株)ジーユー 5年7か月 販売員経験あり

授業初日持ち物 筆記用具、 A4クリアファイル(25ポケット以上 または増やせるもの) USB 縮尺ルーラー	学校で準備する教材など 特に無し
配付資料 プリント配布	

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科	テクニカル	2020年度	2年前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	ハンガーイラスト I	実習 実技	吉羽 恒夫	1

授業の到達目標 (目標とする検定)	デザインとハンガーイラストの適合性(適正にシルエット表現とダーツの取り方が出来ているか)
----------------------	--

授業の内容	正確にデザイン画の持つシルエットを作成の為にきちんとした位置にダーツを取る事が出来様学ぶ
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	基本の絵型がどの程度出来ているかを総合的に判断する為にディテール表現を見る。
2	間違い安いハンガーイラストの表現
3	実物を見て描く(デザイン画・ハンガーイラスト)
4	↓
5	ポロシャツをデザインする(カラーバリエーション・ロゴ・ロゴマーク・ハンガーイラスト)
6	↓
7	↓
8	アシンメトリーデザインを描いてハンガーイラストを作成
9	↓
10	写真を見て描く(デザイン画・ハンガーイラスト)
11	↓
12	毛皮を描く(デザイン画・ハンガーイラスト)
13	↓
14	スポーツウェアを描く(デザイン画・ハンガーイラスト)
15	↓

成績評価の方法
講義に臨む態度・提出物の期限厳守・ハンガーイラストの完成度

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
パリ・クリスチャンディオール社のオートクチュール部門のアシスタントデザイナーとして5年半勤務。帰国後フリーランスデザイナーとして三井物産(株)・三共生興(株)・鐘紡(株)・(株)ワコール等と契約。同時に自社にてオーダーのみのウエディングドレス製作

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
---------	-------------

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科	テクニカル	2020年度	2年後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	ハンガーイラストⅡ	実習 実技	吉羽 恒夫	1

授業の到達目標 (目標とする検定)	デザインとハンガーイラストの適合性(適正にシルエット表現とダーツの取り方が出来ているか)
----------------------	--

授業の内容	正確にデザイン画の持つシルエットを制作する為にきちんとした位置にダーツを取る事が出来る様学ぶ。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	大きなシルエットのコートを描(ハンガーイラスト)
2	↓
3	写真を見てのデザイン画取り方が出来てハンガーイラスト(レース)
4	↓
5	写真を見てのデザイン画とハンガーイラストとハンガーイラスト)スーツ・シャツ
6	↓
7	実際の会社の仕様書使用
8	↓
9	マイコレクション(ハンガーイラスト)
10	↓
11	
12	↓
13	
14	↓
15	総括

成績評価の方法
講義に臨む態度・提出物の期限厳守・ハンガーイラストの完成度

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
パリ・クリスチャンディオール社のオートクチュール部門のアシスタントデザイナーとして5年半勤務。異国後フリーランスデザイナーとして三井物産(株)・三共生興(株)・鐘紡(株)・(株)ワコール等各社と契約。同時にオーダーのみのウエディングドレス部門設立

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
---------	-------------

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科	デザイン・テクニカル	2020年度	2年前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	アパレルニット	実習 実技	大島 有子	1

授業の到達目標	最も人材が不足している ニット製品の生産に関する基礎力を身につけ即戦力になりうるレベルを目指す。
---------	--

授業の内容	<ul style="list-style-type: none"> : アパレルニット製品と布帛製品の違いを理解する。 : ニットの特性、編地、縫製の仕方を理解しワークを通して仕様書作成の how to を身につける。 : 就活のアピールポイントにできるように現場レベルでの習得を目指す。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容	
1	#NAME?	
2	ニットに使われる素材 糸のいろいろ	糸の分類 糸の太さを表す単位
3	ニットの組織と分類 ゲージとは?	編み方の仕組み 編地の形状 糸の太さと適正ゲージの関係
4	針列 編地の特徴と種類	編地の三原組織と針列
5	ニットの縫製の仕方	リンキングと縫製のポイント
6	サイズ指示のポイント	計測位置の基準と名称
7	仕様書作成のポイント	仕様書の役目 サイズ出しのポイント
8	実習 仕様書作成 ①	基本デザインの仕様書作成
9	実習 仕様書作成 ②	基本デザインの仕様書作成
10	実習 仕様書作成 ③	応用デザインの仕様書作成
11	実習 仕様書作成 ④	応用デザインの仕様書作成
12	実習 オリジナルデザインの仕様書作成 ①	デザインを考えデザイン画を描く
13	実習 オリジナルデザインの仕様書作成 ②	デザインに合わせた糸の選択とサイズ出し 仕様書作成
14	テスト実施/サンプル修正の手順	知識習得の確認 修正指示書の書き方
15	実習 オリジナルデザインの仕様書作成 ③	仕様書完成

成績評価の方法
提出課題の評価 (課題に対する理解度、取り組み方、仕様書の完成度)
出席状況と授業態度

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
<p>オンワード樞山(株)にてデザイナーとして勤務。(株)レナウンにて「キャシャレル(年商35億)」「シンプルライフ(年商85億)」のチーフデザイナーとして勤務。</p> <p>(株)コロネット商会にてパリコレ参加ブランド「ベルナルベリス(年商33億)」の日本における企画の責任者として勤務。</p>

授業初日持ち物 筆記用具 テキスタイル辞典 (1年生の素材の授業で使用している辞典)	学校で準備する教材など スタン(ボディ)
--	-----------------------------

配付資料
プリント配布 A4 ファイル ファッション誌を学生各人で準備

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科	デザイン・テクニカル	2020年度	2年前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	素材学Ⅱ	講義	島田 朋子	2

授業の到達目標	<p>素材の基本知識の復習し、素材と素材名を生地をファイリングしながら覚えることで実務に使える知識を習得する。 商品知識を深めつつ品質について学ぶことで、社会人として必要な知識を身につける。</p>
---------	---

授業の内容	<p>業界で働く上で必要な知識を、実際の素材を添付しながら覚えていく。1年次から引き続いて素材の基礎知識を学ぶ。品質について深く知る。</p>
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	1年次の復習と2年次の授業の進め方(繊維の種類について小テスト実施)
2	素材感と素材名を知る①、化学繊維について
3	素材感と素材名を知る②・織物について
4	素材感と素材名を知る③……編物について
5	素材感と素材名を知る④……糸について
6	素材感と素材名を知る⑤……染色について(繊維と染料の関係)
7	脱色加工とステンシル加工(1年生と一緒に材料で)
8	素材感と素材名を知る⑥……後加工について
9	素材感と素材名を知る⑦……アパレルでよく使用する素材・アウター
10	素材感と素材名を知る⑧……アパレルでよく使用する素材・トップス&ボトムス
11	品質について①……家庭用品品質表示法と原産国表示について
12	品質について②……洗濯表示、品質試験について
13	ターゲットを考えアイテムと素材を構成する①
14	期末テスト
15	ターゲットを考えアイテムと素材を構成する②

成績評価の方法
<p>受講姿勢、提出物、筆記試験</p>

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
<p>繊維製品品質管理士、品質管理 テキスタイルデザイナー、OEM商品企画 など</p>

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
<p>1年時のファイル、はさみ、筆記具、両面テープ、テキスタイル用語辞典</p>	

<p>配付資料 資料プリント</p>

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科	デザイン・テクニカル	2020年度	2年後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
必修	卒業制作研究	実習 実技	仲宗根 珠子	2

授業の到達目標	2年間の集大成として、背伸びせず、今の自分に出来る最高の作品を作る。
---------	------------------------------------

授業の内容	2年間の集大成として、パターン・ソーイングの知識と技術を駆使した作品作りを行う。コンセプトがしっかり伝わるデザインを意識し、着用したとききれいなシルエットになる素材を選び、パターン作り・フィッティング・修正・縫製を経て、完成度の高い作品を目指す。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	作品ガイドラインの説明・グループ構成・グループテーマの決定
2	プランニングマップ作成(イメージ・カラー・シルエット・素材・コンセプトなど)
3	各自デザイン提出(スタイル画[前] 平絵[前後])
4	素材チェック(必ず点検を受ける)
5	パターン作成
6	制作実習
7	
8	フィッティング(トワール・実物)
9	制作実習
10	
11	
12	
13	総点検(トータルコーディネートでの点検)
14	手直し・完成度を高める
15	仕上げの課題

成績評価の方法
卒業作品の表現力と完成度。 作品制作に向き合う姿勢と、作業進行を期限内に取り組めるか。

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
アーティスト衣裳・CM衣裳のデザイン・製作 アパレルメーカーにてレディース既製服のデザイン企画業務

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
筆記用具・取り組みたい作品のイメージとなる資料	マップ用紙

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科		2020年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択 B	テキスタイル(織物)	実習 実技	馬場 美和子	1

授業の到達目標	手織り機の機ごしらえと操作ができる。 製織することで布の成り立ちを理解する。 織った布を身につけたり服飾小物を仕立てることで手織りの楽しさを体験する。
---------	---

授業の内容	手織り機を使って織物の基本である織物三原組織、平織、斜文織、朱子織を織ることでテキスタイルデザインの基礎的な理論と技術を学ぶ。 チェック柄をデザインし、織ることで織物の特徴である色彩混合を学び、織物設計ができる技術を身につける。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	布の種類と織物の諸技法のガイダンス
2	基礎制作:三原組織 平織、斜文織、朱子織のテーマットを織る。2色の色系を選び、整経する。
3	基礎制作:三原組織 機ごしらえ(箆通し、綜統通し、織つけ)
4	基礎制作:三原組織 製織する。
5	基礎制作:三原組織 製織する。
6	基礎制作:三原組織 製織を終わらせる。フサの始末と布の整理(仕上げ)をする。
7	応用制作:色彩混合 チェック柄をデザインし、服飾雑貨を制作する。 彩色して色のイメージを考える。
8	応用制作:色彩混合 糸を選ぶ。織物設計表を作成する。
9	応用制作:色彩混合 整経をする。
10	応用制作:色彩混合 機ごしらえする。
11	応用制作:色彩混合 製織する。
12	応用制作:色彩混合 製織する。
13	応用制作:色彩混合 製織を終わらせる。布の始末をし、バッグ、ポーチなど服飾小物に仕立てる。
14	応用制作:色彩混合 縫製する。
15	合評会 基礎・応用制作を発表し、意見交換する。

成績評価の方法
期末提出物、平常点・授業姿勢

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
公益社団法人 日本クラフトデザイン協会会員

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
ハサミ、メジャー、筆記用具、A4クリアファイル10ポケット 材料費¥2000-(糸代 他実費)	

配布資料
プリント配布

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科		2020年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択 B	帽子	実習 実技	児玉 政子	1

授業の到達目標	様々な素材やパーツの組み合わせ方など、制作を通して帽子の構造を学ぶ。 布を使用してプリムのある帽子、フェルトの帽体で木型を使用して帽子の形作りを学ぶ。
---------	--

授業の内容	布を使用してプリムのある帽子を制作する。 フェルトの帽体で木型を使用して帽子の形作り、蒸気によるプリムの成形で制作する。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容	
1	帽子の歴史、種類、素材、用具について	布帽子パターン、採寸、各自パターン作成
2	布帽子制作(2枚接ぎ)	
3		
4		
5		
6		
7		
8	↓	布帽子提出
9	フェルト帽子制作	
10		
11		
12		
13		
14		
15	↓	フェルト帽子提出

成績評価の方法
作品、実習態度、出席状況(木型を使用する為、学校で実習)

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
製図用紙・ルーラー一式・メジャー・洋裁用具 A4クリアファイル	特になし

配付資料
プリント配布

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科		2020年度	前期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択 B	基礎英会話	講義	宇治田 紀子	2

授業の到達目標	日本を訪れる外国人旅行者に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を学ぶことを目標としています。
---------	---

授業の内容	外国人を接客する際に必要な語彙や日本食、伝統文化に関する説明から宿泊施設、観光地などの案内を英語でどのように言えば良いのか、基本的な表現を使って伝える練習を行います。接客英会話の入門という位置づけで、普段使う英語とは少し違う会話を勉強して行きます。従って最初は少し戸惑うかもしれませんが、今度自分たちが旅行者となった場合にも役立てることができ、普通の生活をする上でも使える表現が沢山出てきます。決して簡単ではないかもしれませんが、基礎的な英語を重視して授業を行います。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	Unit 1 Transportation (交通案内)
2	Unit 2 At a Check-in Counter (ホテルでのチェックイン)
3	Unit 3 Facilities and Services (ホテル内の施設やサービス案内)
4	Unit 4 Giving Directions (街歩きのための道案内)
5	Unit 5 Recommending a Trip (観光スポットを薦める)
6	Unit 6 Dining in Japan 1 (日本食の紹介1)
7	Unit 7 Dining in Japan 2 (日本食の紹介2)
8	Unit 8 Arranging a Tour (国内旅行の手配)
9	Unit 9 Staying at a Ryokan (旅館について)
10	Unit 10 Culture Experience in Japan (日本文化体験)
11	Unit 11 Japanese Souvenirs (お土産)
12	Unit 12 Dealing with Health Problems and Emergencies (けがや病気の対応)
13	Unit 13 Dealing with complaints and Accidents (クレームやアクシデントの対応)
14	Unit Upon Departure (帰国に際して)
15	試験

成績評価の方法	毎回の授業中に行うアクティビティーに対する評価と学期末試験の結果を総合して評価します。
---------	---

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)	
----------------------	--

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
筆記用具	

配付資料	
------	--

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科		2020年度	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択 B	ファッショングッズ	実習 実技	浅野 純人	1

授業の到達目標	創作活動はもちろん、生活や仕事など人生に有効な考え方「アートの思考」を身に付ける
---------	--

授業の内容	アートの思考を身に付けるための作品制作と鑑賞を学内外で行う。
-------	--------------------------------

回	授業計画 及び 学習の内容
1	オリエンテーション 作品制作のコンセプト立案
2	作品制作①-1
3	作品制作①-2
4	作品制作①-3
5	作品①の鑑賞会 次回作コンセプト立案
6	美術館鑑賞
7	作品制作②-1
8	作品制作②-2
9	作品制作②-3
10	作品②の鑑賞会 次回作コンセプト立案
11	美術館鑑賞
12	作品制作③-1
13	作品制作③-2
14	作品制作③-3
15	作品③の鑑賞会 授業のまとめ

成績評価の方法 結果としての作品ではなくプロセスを重視する。絵を描く技術の高さは不要。学び吸収する意欲を評価する。 出席50: 作品&レポート50の割合で評価する。

教員の実務経験(企業や団体での実務経験) 絵画工作系教室主宰、美術教員(高等学校、中高一貫校)、小学校内学童でのアート教室開催、まちづくり系NPO法人

授業初日持ち物 クロッキー帳・筆記用具・色鉛筆	学校で準備する教材など 美術展チケット
-----------------------------------	------------------------

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科		2020年度	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択 B	ニット・手芸	実習 実技	矢嶋 久美子	1

授業の到達目標	手芸基礎知識及び技法、名称の習得。 手編みの基礎知識及び技法、名称の習得。
---------	--

授業の内容	デザインの一部として取り入れられるフランス刺繍・ドロンワーク・スモッキングなどの基礎知識、ニッティング(手編み)鉤針編み・棒針編み・アフガン針編みの基礎知識及び技法、名称の習得。手芸またはニッティングを用いてオリジナル作品を作成する。
-------	---

回	授業計画 及び 学習の内容
1	手芸 フランス刺繍基礎刺し ドロンワーク・スモッキング 説明
2	
3	
4	↓
5	ニッティング 基礎編み 鉤針編み 棒針編み アフガン針編み
6	
7	
8	
9	
10	
11	↓
12	自由作品 刺繍・スモッキング・ドロンワーク・鉤針編み・棒針編み など
13	
14	
15	↓

成績評価の方法
提出課題の評価 出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物	学校で準備する教材など
部分縫いテキスト・刺繍糸(2~3色)・糸切ばさみ 筆記用具・A4ファイル	

配付資料
プリント配布

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
服飾専門課程	アパレル総合科		2020年度	後期
講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員	単位
選択 B	ファッション英会話	講義	宇治田 紀子	2

授業の到達目標	初級から中級レベルの受講者を対象とし、主にお店での接客のために必要な基本表現を身につけることを目指します。簡単な英語であっても必要な情報をしっかり相手に伝えられるようになるまで繰り返し練習します。
---------	--

授業の内容	まず接客に必要な基本表現を勉強します。その後さまざまな種類のお店での会話を念頭に、客と店員とのやり取りを実際の場面を想定しながら自分たちで会話を作っていきます。日常生活で必要な表現も沢山出て来るので一つ一つ丁寧に解説し、覚えて使えるようにしていきます。
-------	--

回	授業計画 及び 学習の内容
1	客を迎える・・・「いらっしゃいませ」から「ありがとうございました」まで
2	商品の位置、場所の説明
3	洗濯表示・・・様々な洗濯表示の確認。色、模様、生地を表わす英語
4	お直し・・・「出す」「つめる」などのお直しにまつわる表現。製図パーツの英語表現
5	商品を勧める・・・客の予算、好みを尋ねる
6	ギフト包装・・・客の要望をきく
7	案内・・・売り場への生き方、道案内の仕方
8	値段・・・大きな数字の読み方
9	試着・・・試着の勧め方、求め方
10	交換、返金、返品
11	謝罪・・・様々な場面における謝罪の仕方
12	苦情処理
13	注文・・・ファストフード店やレストランでの注文の仕方、注文の取り方
14	病気・・・病気にまつわる表現、様々な病状の伝え方
15	試験

成績評価の方法 毎回の授業中のアクティビティーと学期末試験の結果を総合して評価します。

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)

授業初日持ち物 筆記用具・A4ファイル(プリント整理のため)	プリント配布
--	--------

配付資料
